

## 目 次

凡 例

## I 環境規制の正当化根拠

憲法問題としての環境保護……………松本 和彦	3
——民主主義との関係において	
環境規制における基本原則の機能……………桑原 勇進	18
環境規制と参加……………大久保規子	35
不確実性下における行政決定の根拠からの 「憶測」の排除に関する覚書……………赤渕 芳宏	50
——アメリカ種の保存法に係る裁判例を手がかりとして	
環境規制と持続可能な発展……………高村ゆかり	66
「共通であるが差異ある責任（CBDR）原則」 再考……………遠井 朗子	81
——個別的でかつ動態的な差異化の意義と課題の検討を中心として	
国際漁業管理における予防的アプローチ……………堀口 健夫	96
——マグロ類漁業条約における展開	
日本における国際環境条約の実施……………鶴田 順	111
——条約をふまえた国内法整備とその意義に焦点をあてて	

## Ⅱ 環境規制の総体的把握

環境規制における国と自治体の関係……………	北村 喜宣	129
——提案募集方式にみる争点		
環境規制への政治学的アプローチ……………	岡村 りら	148
環境規制の行政学的アプローチ……………	久保はるか	160
——環境省の政策手法と行政資源		
環境規制と協定手法……………	島村 健	173
環境規制における 経済的手法の動向と構造分析……………	黒川 哲志	188
環境規制と情報的手法……………	奥 真美	204

## Ⅲ 環境規制の彫琢

環境影響評価法制度の源流……………	及川 敬貴	219
——なぜ代替案検討義務はアセスの「核心」なのか		
気候変動対策（緩和策）における 規制的手法の役割……………	久保田 泉	234
流域管理法制における現状と課題……………	松本 充郎	247
——気候変動を念頭において		
土壌汚染対策の現状と課題……………	大坂 恵里	261
——市街地土壌汚染を中心に		
物質循環管理における規制……………	勢一 智子	276
——物質循環管理法制の再設計に向けた課題		

包括的な化学物質の管理にむけて……………小島 恵	291
——現状と課題	
遺伝子組換え規制……………藤岡 典夫	306
——現状と課題	
順応的管理の規範的性格に関する予備的考察……二見絵里子	318
原子力規制……………藤井 康博	332
——憲法と環境法の原則からみた現状と課題	
高レベル放射性廃棄物処分規制における 可逆性の考察……………下村 英嗣	346
アメリカにおける環境規制……………飯泉 明子	359
——州際通商条項・専占法理、州憲法の環境条項の視点から	
EU における環境規制……………増沢 陽子	377
——より良い規制政策の下での評価制度と環境規制	
中国環境保護法の 法規範構造変化に関する一考察……………奥田 進一	395

## IV 司法における／司法による環境規制の展開

環境規制と訴訟……………前田 陽一	413
——民事訴訟（原子力）	
景観利益の私法における 法的保護についての一考察……………佐伯 誠	428
「サテライト最判」再考……………越智 敏裕	440
環境規制と訴訟……………下山 憲治	457
——国家賠償	

中国環境公益訴訟の現状・課題について……………劉 明全 470

大塚直先生略歴・主要業績一覧

あとがき